

人文社会科学特別科目(博士課程対象)

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 学期	曜日	講時	頁	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
人文社会科学特別科目	災害の人文社会科学	2	籠橋 俊光、小松 丈晃、谷山 洋三、 阿部 恒之、佐倉 由泰、三浦 秀一、 長岡 龍作、小河原 義朗、今井 勉、小 林 隆、佐藤 嘉 倫、沼崎 一郎、ク レイグ・クリスト ファー、戸島 貴代 志、山田 仁史	1学期	木	1	1	対応科目なし

科目名：人文社会科学特別科目／ Humanities and Social Sciences (Special Course)

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

学期：1 学期， **単位数：**2

担当教員：籠橋 俊光、小松 丈晃、谷山 洋三、阿部 恒之、佐倉 由泰、三浦 秀一、長岡 龍作、小河原 義朗、今井 勉、小林 隆、佐藤 嘉倫、沼崎 一郎、クレイグ・クリストファー、戸島 貴代志、山田 仁史（教授、准教授）

講義コード：LD14101， **科目ナンバリング：**LAL-0AR701J， **使用言語：**日本語

【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 対応科目なし 】

1. 授業題目：

災害の人文社会科学

2. Course Title (授業題目)：

Humanities and Social Sciences of Disasters

3. 授業の目的と概要：

本授業は後期課程の学生を対象として、人文社会科学の幅広い視野を提供するものである。研究者として自らの専門を深く掘り下げるために必要な広範な知識、そして高度専門職業人として要求される俯瞰的な視野を持つことを目的とする。「人間を理解する」ことに関して、日本学専攻・広域文化学専攻・総合人間学専攻の教員が、それぞれの専門の視点からオムニバス形式で講義を行う。ここでは特に災害を共通テーマに据え、日本文化に見る災害、世界各地の災害観、災害支援における社会・心理的影響など、幅広い視野から災害に関する人文科学的アプローチについて多角的に学ぶ。

(オムニバス方式／15 回)

4. 学習の到達目標：

- (1) 人文社会科学の幅広い視野を提供し、研究者として自らの専門を深く掘り下げるために必要な広範な知識を身につける。
- (2) 深く広い知識をもとに、高度専門職業人として要求される俯瞰的な視野を涵養する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

担当者ならびに講義内容（講義順番は未定）

- 1 籠橋俊光「災害の史料学」
- 2 クレイグ・クリストファー「Japanese Disasters in Global History」
- 3 小林隆「災害と言葉」
- 4 小河原義朗「日本語教育と災害」
- 5 佐倉由泰「災害と日本文学」
- 6 谷山洋三 「被災地での宗教者の活動」
- 7 山田仁史 「災害の神話学」
- 8 沼崎一郎 「Anthropology of Disaster」
- 9 三浦秀一 「伝統中国における災害救済の思想」
- 10 今井勉 「『ハイチ震災日記』を読む」
- 11 戸島貴代志「災害のあと」
- 12 長岡龍作「災厄と宗教美術」
- 13 阿部恒之「災害心理学—災害文化と創発規範」
- 14 小松丈晃 「災害の社会学—東日本大震災以降の課題」
- 15 佐藤嘉倫「Behavioral Science of Disasters— Social Capital and Recovery from Disasters」

なお、一部の講義では使用言語を英語とする場合がある。

6. 成績評価方法：

レポート。

7. 教科書および参考書：

講義中に別途指示する。

8. 授業時間外学習：

講義内容を踏まえつつ、参考文献等を参照して復習し、さらに関連する文献等に触れ、発展的な理解を得るように努める。

9. その他：なし

特になし。